

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 3 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	入居者の呼称に対する意識が利用者本位の尊厳の確保に基づいたもとに行われているか、第三者の視点から適切に行われているか。	何が虐待にあたるかということを職員全員が理解し、利用者の尊厳を損なうことのないケアの実施に努める。	身体拘束及び虐待における事業所内の研修を通して、正しい知識のもと、ケアの提供にあたる。	12ヶ月
2	35	年二回の災害避難訓練の実施を行っているが、実施状況を記録のみで可視化できていない。また、避難後の具体的な経過措置を講じていない。参加職員の反省をもとに具体的な取り組みが必要である。	災害避難訓練時の経過を写真として残し、参加職員の反省をもとに取り組み方法を見直す。また、実際の避難時を想定した避難後の具体的な取り組みを講じる。	年二回の災害避難訓練時に記録の取り方を検討し、目でみて理解できるように取り組む。また、避難後の具体的な経過措置を検討し、実際のマニュアルを作成し、職員及び地域の方への取り組みを徹底する。	12ヶ月
3	26	チームとしてケアプランのPDCAサイクルの方法が目で見えて理解できるものになっていない。	チームとして職員が情報を共有し、利用者本位となるケアプランの作成が出来るようになる。	モニタリングの方法を再構築し、可視化したものにし、全職員が情報の共有をもとにケアプランの実施、作成ができるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。